

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5413 FAX 番号 03-3270-5461
担当部門 営業本部学術担当 担当者 菅野英奇
緊急連絡電話番号 03-3270-5413 FAX 番号 03-3270-5461
E-mail: shiyaku@junsei.co.jp
url: <http://www.junsei.co.jp>
作成日 2002年12月25日
整理番号 96741
製品名 (pH試験用)プロモチモールブルー溶液(0.4g/L)
Bromothymol blue solution (0.4g/L)

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

成分 1

化学名: プロモチモールブルー
別名: BTB
化学式: $C_{27}H_{28}Br_2O_5S$
CAS No: 76-59-5
含有量: 0.04%
化審法: 未登録
安衛法: 未登録

成分 2

化学名: 水酸化ナトリウム
化学式: NaOH
CAS No: 1310-73-2
含有量: 0.00256% (25.6ppm)
化審法: 1-410
安衛法: 公表

成分 3

化学名: 水
化学式: H_2O
CAS No: 7732-18-5
含有量: 99.96%
化審法: 局方
安衛法: 公表

3, 危険有害性の要約

吸入したとき：呼吸器官の刺激
皮膚に触れたとき：刺激
目に入ったとき：刺激
飲み込んだとき：毒性は十分調査されてない。飲み込めば有害。
慢性：データなし

4, 応急措置

眼に入った場合

1. 清水で十分に洗い流す。
2. 医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

1. 清水で十分に洗い流す。
2. 汚染した衣服は脱がせ、医師の診断を受ける。

吸入した場合

1. 新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。
2. 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

1. 口をすすぐ。
2. 医師に連絡。

5, 火災時の措置

本品希薄水溶液なので燃焼しない。

消火方法

1. 周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
2. 着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

消火剤

1. 水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

6, 漏出時の措置

1. 少量の流出は、雑巾等で吸い取り、廃棄する。そして大量の水で希釈洗浄する。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 弱アルカリ性なので、手や目に入らないように注意して取り扱う。

保管

1. 乾燥した冷暗所に保管。

8, 暴露防止及び保護措置

通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

暴露限界：規制値は設定されていない

設備対策

1. 局所排気装置

保護具

1. 安全ゴーグル。
2. 不浸透性保護手袋。

9, 物理的及び化学的性質

外観等: 青色水溶液

沸点: 約 100 (水)

融点: 約 0 (水)

比重: データなし

溶解度: 水には任意の割合で混合する

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 常温常圧で安定

避けるべき条件: 混触不可物質、光

混触不可物質: 強い酸化剤、還元剤

危険な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、臭化水素、硫酸化合物

危険な重合反応: 報告なし

11, 有害性情報

(プロモチモールブルーについて)

急性毒性: (RTECSファイル)

データなし

変異原性: (RTECSファイル)

データなし

発がん性:

ACGIH, IARC, NIOSH, NTP, OSHA に記載なし

12, 環境影響情報

データなし

13, 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

1. 漏洩及び火気に十分注意し慎重に運搬する。

国連番号: 該当しない

15, 適用法令

消防法: 非該当

毒劇法: 非該当

PRT法: 非該当

労働安全衛生法: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 非該当

16, その他の情報

引用文献

メルクインデックス13版 1430

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。